

クリエイティブ京都^{MT}

Oct. 2006

10

No. 016

Management & Technology for Creative Kyoto

がんばる企業をサポートするビジネス情報誌

CONTENTS

企業紹介	1 ▶ 2
京都試作センター(株) 設立記念フォーラム	3 ▶ 4
創援隊交流会	5 ▶ 6
産学公連携	7 ▶ 8
設備貸与制度	9 ▶ 10
情報化プラザ/京都インターネット利用研究会10月例会	11
京都産業21 環の会	12
受発注コーナー	13 ▶ 14
京都発/我が社の強み	15
ものづくりベンチャー支援セミナー	16
マイクロ・ナノ融合加工技術研究会	17
研究報告から	18
技術情報	19
お客様相談室事例紹介	20
技術トレンド寄稿	21 ▶ 22
行事予定表	23

京都府産業支援センター <http://kyoto-isc.jp/>
財団法人 京都産業21 京都府中小企業技術センター

試作を通じて地元中小企業を活性化し、京都・関西の産業に貢献する 京都試作センター株式会社設立、営業開始

本年7月19日、「試作を通じて『モノづくりソリューション』を提供」をスローガンに、試作産業の育成を担う中核的な組織として、京都試作センター株式会社が設立されました。

公共的な性格を保持しつつ民間企業の効率性と柔軟性を発揮する21世紀型の社会的企業（ソーシャルエンタープライズ）として、京都産業の発展に寄与するために、京都試作産業推進会議や財団法人京都産業21、さらに大学や研究機関などと連携し試作産業の創出を目指しています。

今回は会社設立にあたり、京都試作センター株式会社 代表取締役社長 市原達朗 氏と代表取締役副社長 増田 清 氏にお話を伺いました。



代表取締役社長 市原達朗 氏

●設立の理念、経緯について

試作ビジネスの取組は、5年前に京都試作ネットが試作専用のWebサイトを立上げ、京都を試作の一大産地にしようと活動を始めたことをきっかけに、試作産業を新京都ブランドのひとつとして育てる方向へと大きく進展してきました。そのような中で、オール京都の取組として、より効果的、効率的に試作産業を推進して行くための中核的な組織が必要となってきました。そこで、どのような組織形態がふさわしいかの議論を経て、取引を仲介し責任を負うことができる組織として、株式会社とすることになりました。

通常の試作の発注業務においてはいろいろな会社へ声をかけ、それぞれに契約、信用調査や口座開設など煩雑な手続き業務を行わなければなりません。手間のかかる手続きが一本化できればメリットがある事業になると考えました。調査すると、このような事業は他地域ではあまりやっていないということもわかってきました。

いろいろ検討した結果、出資は京都・関西の大手企業を中心に、最終的には中小企業からも集めることにしました。地元の企業に出資していただく、地域貢献型のみんなの会社になろうということになり、平成16年の秋にほぼ構想をまとめ上げることができました。

平成17年6月10日に試作産業の可能性を探る京都試作産業シンポジウムを開催したところ、当初考えていた以上に試作事業に対する関心の高いことがわかり、1年後（平成18年7月）の新会社設立に向けて大きく歩み始めました。

●今後の試作事業の方向性について

今後の試作事業の方向性を考えるといくつかの課題があります。試作を完成させてもマシプロダクションが可能であるかどうかの検証、また「見栄え」や「手触り」などマーケティングの観点からの検証という問題があります。さらに、実物をつくる必要がないバーチャルによる実物代替機能の活用、これは材料も機械

も必要がないため、急速に進んで行くと思われます。また、一方で「匠」の世界があります。伝統産業はこの世界ですが、科学で追究していくことにより職人に代わることができるようになってくると考えられます。これからは科学に裏付けられた試作も必要であり、そうしないとコストパフォーマンスが上がりません。

そこで当社がどのように考え事業を推進していくかが問われます。従って、当社の経営メンバーが次の世代を視野に入れた、目標・ビジョンを明確にする必要があります。例えば、将来的には単品で金型の試作を受けるというだけでなく、民生用機器などのプロダクトデザインも含めた試作の業務も事業として視野に入れる必要があると考えています。

●事業展開について

新会社の事業は、単に試作ということだけでなく、モノづくりにおけるソリューションを幅広く行い、サービスするというもので、「試作を通じて『モノづくりソリューション』を提供」をキャッチフレーズとしています。

営業活動は地元にとどまらず、むしろ他府県や海外から仕事を受注したいと考えています。国内では中部や関東方面などで積極的な営業活動を行いたいと思います。

●試作分野別アドバイザーによる対応

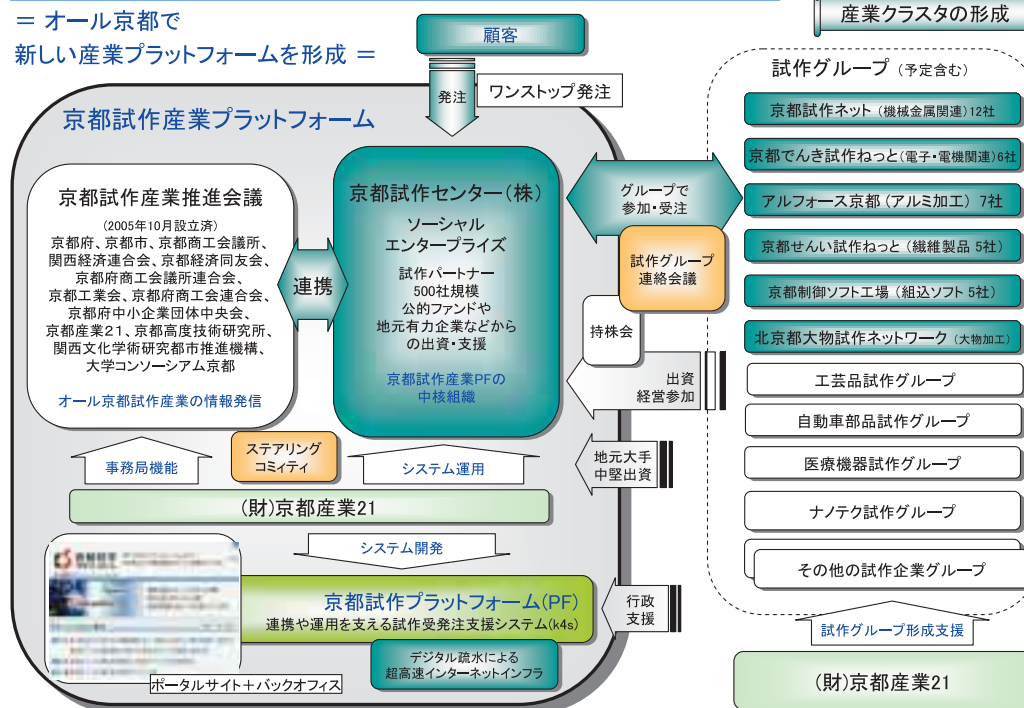
当社の事業は、顧客に「試作を通じてモノづくりのソリューション」サービスを提供することですが、そこに価値を認めていただくことができれば、事業を継続することはできません。従って、当社では試作に関する専門的な人材が不可欠です。

まず常駐の試作アドバイザーを置いて、さらに分野別専門アドバイザーを組織していきます。試作は範囲が非常に広いので多くの人員が必要です。分野別専門アドバイザーは大手企業をリタイアされた技術関連の方などが候補者です。また、顧客が地域的に分散するので、インターネットでの在宅勤務という形態も考えられます。

京都試作産業プラットフォームの仕組み 京都モデル

= オール京都で

新しい産業プラットフォームを形成 =



●利用者、顧客のメリット

当社は、公共的な性格を保持しつつ、民間の効率性と柔軟性を発揮する21世紀型の会社組織（ソーシャルエンタープライズ）です。公的機関や大学等と連携していること、株主として地元大手企業から支援を得ていることで信頼感があります。また、仕事を発注されるお客様にとって、取引窓口が1本化できるため、品質、価格、納期、機密保持、決済などの業務が一元管理できるといったメリットがあります。

★《主な業界・分野：電気機械、自動車、ケータイ、製薬・化学、アパレルなど》

●試作パートナー企業（試作グループ）のメリット

当社は試作パートナー企業の営業機能を効率的に代行するサービスを提供するので、検証された確度の高い試作案件を紹介できます。また、決済も代行しますので、代金回収の心配がありません。従って、試作パートナー企業は、自前のオンリーワン技術に集中できます。そして、京都試作ブランドの使用により、品質はもとより企業イメージや信頼性の確保が容易になります。

★《試作分野：金属部品加工、電気電子部品・組立、組込みソフトウエア、繊維アパレル関連、プラスチック部品加工、工芸品関連、自動車部品、ナノテクなど》

●今後の展開について

試作パートナー企業に対してどのように役立ち、サポートしていけるかが当社の命題です。そして、顧客のためにいち早く体

制を確立し、積極的な事業運営を行い、業務を軌道に乗せたいと考えています。

数値目標も設定し、中期的な事業計画も進行させています。試作パートナーとの連携を密にして大きな目標に邁進し、京都の試作産業の発展に貢献したいと考えています。

会社概要

- ・社 名： 京都試作センター株式会社
- ・インターネットサイト名： 京都試作プラットフォーム
<http://kyoto.sisaku.com/>
- ・設 立： 2006年7月19日
- ・資 本 金： 200百万円（総出資額223百万円）
- ・役 員： 代表取締役社長 市原達朗
代表取締役副社長 増田 清
取締役 瀧本慎吾
監査役 木田喜代江
- ・事業内容： 1. 試作に関する受発注のあっせん業務
2. インターネット等を利用した通信販売業
3. 試作並びに関連する設計開発の受託業務 など

京都試作シンボルマーク



京都試作産業の統一マークとして、その品位の高さと信頼性を象徴し、京都試作産業プラットフォームに参加するすべての企業や組織、ならびにその製品に付与されるものです。京都試作の頭文字KSをデザインし、中心の四角は高品位の試作を表しています。

【お問い合わせ先】

（財）京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211
E-mail: market@ki21.jp

京都試作センター(株) 設立記念フォーラム開催される

主催:京都試作センター株式会社 共催:京都試作推進会議

去る9月12日(火)、京都リサーチパークサイエンスホールにおいて京都試作センター株式会社設立記念フォーラムが開催され、250名を超える参加者がありました。

主催者の京都試作センター株式会社の市原達朗 代表取締役社長、発起人の立石義雄 京都試作産業推進会議議長からの挨拶の後、ご来賓の麻生 純 京都府副知事と上村良次 近畿経済産業局産業部次長から祝辞がありました。

フォーラムでは、京都試作センター株式会社に参画する6グループのプレゼンテーションが行われ、各グループの代表が積極的にグループの特長や強みをアピールしました。また、フォーラムの最後には、京都府特別参与の今井賢一氏から「試作産業の発展に向けて」をテーマに講演がありました。

それぞれのグループならびにプレゼンテーションの内容をご紹介します。



試作グループ紹介 — 最先端のハイテク技術から超大物加工まで —



山本精工(株)
山本 昌治 氏

京都試作ネット

京都における試作産業の先駆けとしての経験を生かし、迅速な対応により、様々な試作依頼にお応えします。

京都試作ネットは、5年間で約30回の展示会活動、50を超えるテレビ、新聞、雑誌になどの取材をうけました。100回をこえる講演活動を続けてきました。現在、正会員が13社、準会員4社、賛助会員1社、合計18社の体制です。

理念は「顧客の開発の効率化を図る、そして、新しい価値を創造し、お客様とわれわれが共に成長する」です。

スローガンは、「顧客の想いをすばやく形に変える」です。スピード、シンプル発注(丸投げで仕事を受ける)、安心感を心がけています。2時間で案件に応え、適正な企業が決めれば、顧客と担当企業とが直接取引がはじまります。

(株)秋田製作所 生田産機工業(株) 川並鉄工(株)
(株)キョウクロ (株)衣川製作所
(株)クロスエフェクト (株)最上インクス
州崎鋳工(株) (有)日双工業 (株)富士精工
(株)モステック 山本精工(株) (株)京都試作工房



木下電子工業(株)
代表 木下 義次 氏

京都でんき試作ネット

エレクトロニクスをキーテクノロジーとし、独自の技術を活かし電気・電子機器の試作から量産まで、スピーディーに対応します。

当グループは、「どこよりも早く、期待を超える試作品を提供」をスローガンに積極的な事業展開を志向しています。現在6社がグループとなって活動しています。電機の試作は、ハードからソフト、小さなモノから大きなものまで幅がひろく多種多様です。主業務は基板実装、組立配線、設計などです。

活動状況としては、東京で機械要素技術展への出展

などPR活動をしています。当グループの活動が新聞などに記事としてとりあげられると引き合いがきますので、PR活動をどのように展開していくが課題となっています。

今後はさまざまな課題を克服し、実績を積み重ねて、信頼されるグループとして成長していきたいと考えています。

(有)アオキ電機 (株)アプティック
木下電子工業(株) 共進電機(株)
(株)京光製作所 (株)富士製作所



人材派遣はパソナ。

- 人材派遣/請負
- 新卒派遣
- 人材紹介
- 再就職支援

ホームページ www.pasona-kyoto.co.jp/

株式会社パソナ京都

京都本社 TEL.075-241-4447
京都市下京区四条通堺町東北角四条KMビル4階
滋賀支店 TEL.077-565-7737
草津市大路1-15-5ネオオフィス草津



(有) 篠原製作所
代表 篠原 義和 氏

アルフォース京都

アルミニウム加工に特化。「アルミの匠」を標榜し、若いスタッフのエネルギーにより、試作から量産まで対応します。

当グループは、「個性と技術の融合でアルミ加工の未来を創造する」をスローガンに、「時代の変化に対応し、モノづくりによる共存共栄をはかり、社会貢献への道を拓く」を理念に掲げています。行動指針は、「連携により、よりよい製品提供の方法と営業方法を探究し、

積極的な営業活動で質の高い仕事を集め、相互に最適な仕事を分配する」としています。コンセプトは、アルミ加工の特化に挑戦する技術ユニットです。日本のアルミ加工のトップレベルに追いつけるように努力してまいります。

(有) 光伸製作所 三栄金属工業所
(有) 篠原製作所 (株) 津島鉄工所
(有) 日光電機製作所 (株) ハタナカ



(有) 三葉商事
山下 武志 氏

京都せんい試作ネット

こだわりの繊維製品をどこよりも早く、ていねいに試作します。

当グループは、京都北部の縫製関連メーカーが結集しました。社会に貢献できると確信し、試作グループに参加しました。衣料業界だけでなく異業種とのコラボレーションで新商品の開発や新規顧客の開拓を目指しています。

母体は北近畿ソーインググループで、現在9社で活

動しています。この中から5社で製造・販売に挑戦することになりました。今回開発のアイテムを「女性用ふんどし」に決めて、京都造形芸術大学に依頼し、ふんどし、腰巻きのプロジェクトを発足させ、数点のふんどしを開発しました。今後は、さらに連携を強め縫製・繊維によるモノづくりを提案していきたいと考えています。

塩見プリント 将光 (株) (有) 高橋縫製
(有) 三葉商事 ヨーク



インフォテック (株)
奥田 由春 氏

京都制御ソフト工場

京都制御ソフト工場は、制御システムの試作を通じて、皆さまのアイデアを形にします。

制御系のソフトを開発している5社が結成したグループです。得意分野が異なった会社が集まっているのがポイントです。

理念は、「機能、品質、コストのバランスに優れた電気制御分野の試作ソリューションを提供し、産業と技術、地域の発展に貢献します」です。分野は、パソコン制御、

PLC制御、生産ライン制御システム、計測制御、ロボット制御、画像処理、組み込みソフト等の分野を主なターゲットとしています。対象機器・業種は、半導体製造装置、液晶関連製造装置、各種生産設備、機械装置、電気機器等の制御です。

インフォテック (株) (株) 京都テクニカ
スキューズ (株) シーク電子工業 (株)
バンテック (株)



舞鶴工業集積協議会
事務局 桐村 達也 氏

北京都大物試作ネットワーク

10トン超、10m四方超の大型加工品に特化し、製品加工単体から大型プラント建設まで幅広く対応します。

当グループは、大型、大物の試作に特化したグループです。母体は舞鶴工業集積協議会で、舞鶴市内の機械金属関連の企業60数社の集まりです。地域産業活性化を目的に平成5年に組織され発足しました。そして、人材育成、新商品開発に取り組んできました。造船業・

ガラス製造等で培った技術を活かし、北京都大物試作ネットワークを組織し活動しています。

特長として、大物の試作に特化したニーズに機械金属関連の企業数60社のネットワークが即対応、100トンの重量物を吊るクレーンの装備、大きくて輸送が困難な重量物でも海上輸送に対応などです。また、竹炭を使った水質改善装置、猿害防除システム、環境関連機器など多くの機器・装置を開発しています。

【お問い合わせ先】

(財) 京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211
E-mail: market@ki21.jp

未来ってどうなっているんだろう？

空飛ぶ車、ロボット、飛び出す映画…。

私たちの仕事は電子部品というタネを、エレクトロニクスの世界に送り込むこと。

つまり、あなたが想像する豊かな未来を実現すること。

携帯電話、カーナビ、パソコン…。

ほら、ちょっと前に想像していた未来が、

もう今は実現されているでしょう？

私たちの創る小さな部品は、未来の始まり。

小さな部品で、エレクトロニクスの世界に

たくさんの花を咲かせていきます。



未来を創る。
ムラタの部品が

Innovator in Electronics
muRata
村田製作所

株式会社村田製作所 本社：〒617-8555京都市府長岡京市東神足1丁目10番1号 お問い合わせ先：広報部 phone:075-955-6786 http://www.murata.co.jp/



創援隊交流会 プレゼンテーション企業募集中!!

～あなたの会社の販路開拓をバックアップします～

【創援隊は、京都府と財団法人京都産業21が結成を呼びかけた販路開拓を支援する専門家のネットワークです】

京都府と(財)京都産業21では、自社開発製品の販路開拓や、技術等の売り込み先でお困りの地元ベンチャー・中小企業をサポートするため、創援隊交流会を開催し、参加する創援隊のネットワークで、あなたの開発製品の販路開拓や技術の売込みのお手伝いをしています。

過日開催した創援隊交流会第1回(6月29日)及び第2回(8月8日)においても、企業からのプレゼンテーション、商品展示交流会の後、創援隊員からの積極的なアドバイスを受けると共に、創援隊員のネットワークにより売込み先の紹介等がありました。

ただいま、**第4～7回(11月下旬～来年3月下旬:京都・東京両会場)**で創援隊メンバーへ自社製品や技術の販路開拓支援等を求めるプレゼンテーション及び交流を希望する企業を募集しています。

ふるってお申し込み下さい。

※プレゼンテーション企業に対して、当財団で事前のプレゼンテーション指導を無料で実施します。

※創援隊交流会事業について詳しくは「創援隊」ホームページ→<http://www.ki21.jp/souentai/>をご覧ください。

詳しくはお問い合わせ下さい。(お問い合わせは、お客様相談室:075-315-8660 内田・井上まで)

平成18年度創援隊交流会のこれまでのプレゼン発表企業

第1回創援隊交流会(6月29日:京都会場)

- (株) マイクロリアクターシステム
<http://www.c-mrs.com>
「シングルナノ金属超微粒子および応用製品」の販路開拓等のアドバイス支援
- (有) アクス京都
<http://www.acs-kyoto.com>
「ACS2000M型 簡易式濁水処理システム(モリンガ仕様)」の販路開拓及び取扱先の紹介
- タマヤ(株)
<http://www.tamayakk.co.jp>
「フレッシュボックス」および「はがし太郎」の販路開拓等

第2回創援隊交流会(8月8日:京都会場)

- (株) 東洋レーベル
<http://www.toyolabel.co.jp/>
「TLアニバン(盛り上げ転写シール)」の販売ルートの開拓
- (株) ネットイン京都
<http://netin-kyoto.com/>
「共有型公衆ワイヤレスブロードバンド(WBB) サービス事業「ソラシド」設置連携先の獲得等
- マーフ工房
<http://maaff.com/>
「女性用見せるふんどし」の販路開拓等
- (株) セムテックエンジニアリング
http://www.kuze.ne.jp/user/sem_tech/
「微細構造製品生産受託(エレクトロファインフォーミング加工)」による微細加工を必要としている取引先開拓



計る・包む・検査する

トータルソリューションのイシダ。

イシダは、計量技術を核に、生産から物流、流通などのあらゆる分野に、先進の技術と豊富な経験をお客様を総合的にサポート。確実なメリットをお約束します。



株式会社イシダ

■お問い合わせは

本社/京都市左京区聖護院山王町44番地 〒606-8392 TEL.(075) 771-4141

<http://www.ishida.co.jp>



交流会では、参加された企業の方に、創援隊隊員へ販路開拓を目指す製品や技術、そのビジネスプランを発表していただきます。

また、持ち込んでいただいた製品、パネル等も参考にしながら、隊員から販路先の紹介、具体的なアドバイスをを行います。



※プレゼンテーション企業に対しては、当財団が事前にプレゼン指導を無料で実施します。

これからの創援隊交流会の予定

- | | | |
|-----|----------------------|--------------|
| 第3回 | 創援隊交流会(10月27日 :東京会場) | 9月末申込締め切り |
| 第4回 | 創援隊交流会(11月下旬 :京都会場) | 11月10日申込締め切り |
| 第5回 | 創援隊交流会(来年1月下旬:東京会場) | プレゼン企業募集中! |
| 第6回 | 創援隊交流会(来年2月下旬:京都会場) | プレゼン企業募集中! |
| 第7回 | 創援隊交流会(来年3月中旬:東京会場) | プレゼン企業募集中! |

【お問い合わせ先】

(財) 京都産業21 お客様相談室

TEL:075-315-8660 FAX:075-315-9091
E-mail: okyaku@ki21.jp

誰でもつぎ合える機械ほど、
すごい技術が隠されている。
ひとりひとりの人に、
機械のほうから合わせてくれる。
そんな、人と機械の関係。
センシング&コントロール技術で、
人と機械のベストマッチングを。



OMRON
Sensing tomorrow™

「大学の研究室を覗いてみれば、産学連携シーズに出会えるかもしれません」

京都産業大学 リエゾンオフィス

■産学連携にはマッチングが重要

ここ数年、産学連携を推進するために多くの支援施策が行われています。大学のシーズと企業のニーズとのマッチングのため、支援団体は産学交流イベントやテーマ別のセミナーを実施するなど、出会いの場を提供しています。また、行政機関も補助金制度を設けるなど、産学連携の後押しをしています。そして、大学も保有する産学連携のためのシーズを公開しています。京都産業大学においても、「研究・技術シーズ集」や「サガタリウスからのメッセージ」というリーフレットで研究内容の紹介を行っていますし、本学のホームページ上でも、企業ニーズとのマッチングのために同様の内容で情報公開しています。

■マッチングに必要な情報は

研究シーズと企業ニーズのマッチング。このマッチングをうまく行うには、誰かが大学の研究内容を正確に理解し、また、企業側の開発ニーズを知ることがポイントになります。しかし、これが意外に難しいのです。大学のリエゾンオフィスのスタッフには、研究者の研究内容を理解することは比較的容易ではありますが、公にされない企業ニーズを正確に知ることは非常に難しいことだと思います。一方、研究部門に多くのスタッフを持つ企業であれば、学会などで直接大学研究者の研究内容を知ることができますが、スタッフを配置できない企業であれば、学会などでの情報収集は難しいと思います。この点からすれば、地元企業の産学連携を担当する多くの方にとって、大学の研究室の情報を正確に理解いただくこと、特に基礎領域の研究であれば、担当者の方が研究シーズの商品開発のための応用利用をイメージすることは難しいことだと思います。

もっと気軽に産学連携のきっかけとなる情報を得ることはできないだろうか、また、基礎研究を行っている研究者との連携は難しいのだろうか。これらのことを考えてみると、大学の研究室の活動を見てみれば、少しは解決する方法があると思いますし、基礎研究を行っている研究者にも、多くの可能性があると思います。今回はその方法として少しですが研究室の情報を紹介します。

■基礎研究があるから応用研究の可能性はある

今回は、京都産業大学の研究室でどのような研究が行われているか、研究室の学生さんの研究テーマを交えて紹介します。担当教員の研究は基礎研究であっても、研究室の学生さんの研究テーマの多くは、担当教員の基礎研究をベースにしたものでありながら、1年または2年程度で成果が出せる応用研究に近いテーマで行われています。学生さんの研究テーマは必ずしも一様ではなく、多様な領域に広がっていることもあります。すなわち教員が持つ基礎研究という土台の上に、多様性をもった研究が展開されているわけです。これらのことが、企業の担当者の方に少しでも大学が行う研究の応用例として参考になればと考え、研究室の内容をご紹介しますこととします。

【工学部生物工学科 竹内実研究室】

竹内教授の研究領域は「免疫細胞学」。現在の研究テーマは「喫煙と腫瘍免疫機構に関する実験医学的研究」。大気汚染のモデルとしてタバコ煙に着目し、喫煙と癌の生体防御システムの関係について研究を行っています。

その一方で、研究室の学生さんは、「アガリクス茸熱水抽出液、蜂蜜などの天然成分の免疫、抗腫瘍作用とその作用機構」というテーマで、天然性物質であるアガリクス茸が免疫細胞を活性化させるかどうかを検証しています。両者の共通項は「生体防御システム」のようです。竹内教授は、自然食品がもつ免疫賦活作用などの共同研究も行っています。免疫機能に関する基礎研究をベースに、機能的食品などへの応用も可能となっていることが分かります。

【工学部情報通信工学科 黒住祥祐研究室】

黒住教授の研究領域は「形状処理工学」。最近では「ミニマックス曲線近似の並列化」をテーマとした論文を発表。また、黒住教授は、1ドライブ方式でカメラを全方向に高速回転させ、全周画像を撮影・編集する「全周囲画像システム」の特許出願も行っています。

一方、研究室の学生さんは「西陣織における織物デザインソフトウェアとそのコントローラの開発」を行っています。形状処理工学という基礎工学をベースに、画像・形状に関するソフトウェアの開発



<http://www.krp.co.jp/>

KYOTO RESEARCH PARK CORP.



何か、はじめたくなってきた。

常に時代の経済産業動向を脱みながら、新しい分野の企業にいち早く対応した設備とソフト的支援を開発するとともに、経営や技術、特許相談、人材育成支援、異業種交流といった様々なサービスを行う公的な産業支援機関が一つの地域に集積し、起業家や「第二創業」を目指す経営者の方々にワンストップのサービスをご提供しています。



オフィススペース

個人用オフィスから、企業活動まで幅広い業務形態に対応いたします。



実験研究スペース

化学、医薬品、新素材などの研究開発に最適です。



KRPデータセンター

24時間安心のセキュリティ。最高の環境でお預かりいたします。

京都リサーチパーク株式会社
京都市下京区中堂寺南町134番地TEL:075-322-7800

が可能となっています。

【工学部情報通信工学科 外山政文研究室】

外山教授の研究領域は量子情報通信工学が中心であり、「量子テレポーテーションや量子レジスターの物理・数学的モデル」の研究や量子力学の原理的な問題も含めた周辺問題について研究しています。

一方、大学院生とは「医療用PET画像の修復問題」を、学部学生とは「遠隔監視・制御システム」の開発を行っています。地球の裏側においても、ブラウザーさえあれば監視・制御ができるシステムの構築を行っています。これは仮想計測・制御テクノロジーの応用研究です。

【理学部コンピュータ科学科 岡田憲志研究室】

岡田教授の研究領域は「原子核実験」。現在の研究テーマは「 π + π 原子の寿命測定による量子色力学(QCD)の検証」。難しいタイトルですが、1秒の一兆分の一のさらに千分の一の寿命を測って強い力の理論が正しいかどうかを調べます。その実験に使う検出器を開発するのが第二のテーマ「4次元トポロジカルカウンターの開発」。これは、沢山の粒子の位置と距離と時間をリアルタイムで与え、膨大な雑音の中から有効な信号だけを取り出すトリガーを作る検出器です。現在は太さ250ミクロンの極細ファイバーを約500列並べたホドスコープを開発しています。

一方で、研究室の学生さんは、「音声・画像で制御する電動車椅子」、「ビリヤードロボットの開発」、「点字トレーニングシステム」、「対戦型サッカーゲームシステム」の開発など、音、画像、センサー情報を基にコンピュータによる外部機器の制御をテーマに開発を行っています。



【経営学部経営学科 井上一郎研究室】

井上教授の研究領域は「経営情報・システムマネジメント」、「ナレッジ／知恵マネジメント」。物的生産のみならず知的生産に関するマネジメントについて研究を進めています。また、共同研究などでは、「能力開発のためのナレッジ／知恵のマネジメント」なども行

っています。

一方、研究室の学生さんは、「サプライチェーンマネジメント(SCM)における知恵のマネジメント」、「eラーニングにおける知恵のマネジメント」、「中小企業における情報システム活用の成功要因」などの研究を行っています。

【経営学部経営学科 山田昌孝研究室】

山田教授の研究領域は「マーケティング・サイエンス」。なかでも「新製品の採用と普及」をテーマに研究活動を行っています。現在は、パーソナリティ・スコア(人が自立型か協調型かを測るテスト)を用いて、採用(購入)時期を予測するモデルを構築しています。また、産学共同研究においても、「フード・ビジネスにおけるワン・トゥ・ワン・マーケティングに関する調査・研究」をテーマに、アスリートのための効果的な食事摂取推進のコミュニケーション方法の研究を進めています。

一方、研究室の学生さんは、「医薬品企業における新薬普及プロセスの研究」や「ポピュラー音楽CDの消費者構造分析」などの研究成果を出しています。マーケティング・サイエンスという視点から、多くの分野への助言が可能と考えられます。

■研究内容からのイメージをお聞かせいただければ・・・

今回は6つの研究室の紹介でしたが、大学の研究者は、自らの研究を行うだけでなく、学生指導という点では、コンサルタントまたはアドバイザーといった役目も持っていることがお分かりいただけたのではないのでしょうか。大学の研究者は常に最先端の研究を行うことが求められますが、産学連携、とくに商品開発という視点では、必ずしも最新の研究成果でなければならないということはありません。既存のものと既存のものを掛け合わせることによって、新たなイノベーションが起きることもあります。今回ご紹介したような情報は、大学の一つの側面でもあります。教員の研究テーマから、いろんな応用例をイメージして頂き、リエゾンオフィスのスタッフに問い合わせただけければ、研究者とその可能性を協議し、回答いたします。

研究者の研究テーマなどについては、ホームページや研究・技術シーズ集などでもご紹介しています。研究室の情報も、一部はホームページで見ることができます。新しいことにチャレンジする際に、大学研究者のアイデアが必要なときは、リエゾンオフィスまで気軽にお声がけください。

また、機会があれば、研究室の紹介をさせていただきたいと思います。

【お問い合わせ先】

京都産業大学リエゾンオフィス

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
TEL:075-705-1778 FAX:075-705-1966
E-mail:liaison-office@star.kyoto-su.ac.jp
URL:http://www.kyoto-su.ac.jp/

SOLARは京セラ

京セラの太陽光発電システム

—— 中部国際空港『セントレア』で稼働中 ——

中部国際空港展望デッキ屋上
出力: **240kW**

THE NEW VALUE FRONTIER

KYOCERA

写真提供: 中部国際空港株式会社

京セラ株式会社
www.kyocera.co.jp

京都産業21が設備投資を応援します！

企業が必要な設備を導入しようとする時、希望される設備を財団が代わってメーカーやディーラーから購入して、その設備を長期かつ低利で割賦販売またはリースする制度です。

区 分	割賦販売	リース
対象企業	原則、従業員20人以下（ただし、商業・サービス業等は、5名以下）の企業ですが、最大50名以下の方も利用可能です。	
対象設備	機械設備等（土地、建物、構築物、賃貸借用設備等は対象外）	
対象設備の金額	事業実績が1年以上あれば100万円～6,000万円まで利用可能です。	
割賦期間及びリース期間	7年以内（償還期間） （ただし、法定耐用年数以内）	3～7年 （法定耐用年数に応じて）
割賦損料率及び月額リース料率	年2.50%（固定金利） （設備価格の10%の保証金が契約時に必要です）	3年2.990% 4年2.296% 5年1.868% 6年1.592% 7年1.390%
連帯保証人	一定の要件を満たす連帯保証人が必要です。	

割賦販売とリース、どちらにしますか？

それぞれの特徴をご理解のうえ、皆様に合った方をお選びください。

	割 賦	リ ー ス
所有権	・完済まで財団に所有権があり、完済すると所有権が割賦企業に移転します。	・リース期間中及びリース期間終了後においても所有権は財団にあります。（リース期間満了後は、返還するか再リースするかを選択していただきます。）
メリット	・償還は6ヶ月据え置きです。 ・設備価格相当分は減価償却ができます。また、割賦損料部分は経費処理できます。 ・償還期間が法定耐用年数以内であれば最長7年と長期であるため、月々の償還負担が軽減できます。	・リース料は経費として全額経費処理できます。（そのため、節税効果があります） ・減価償却、固定資産税、損害保険料の支払いなどは財団が負担します。（管理事務も不要） ・契約時に自己資金が不要です。
留意事項等	・契約時に保証金として設備金額の10%を納付していただきます。 ・財団を受取人とした損害保険（火災保険）をかけていただきます。（保険料は企業負担） ・割賦設備の固定資産税を負担しなければなりません。 ・維持管理費は負担していただきます。	・維持管理費は負担していただきます。 ・リース期間中は、リース設備の更新及び中途解約はできません。 ・リース期間満了後、ご希望により、原契約の1か月分のリース料で1年間の再リース契約が可能です。再リースは何回でもできます。 ・リース設備は再販可能なものに限りです。



知	り	た	い
を	,		
科	学	す	る

株式会社 島津製作所

京都市中京区西ノ京桑原町1 Tel. (075) 823-1110

分析計測 事業部	医用機器 事業部	半導体機器 事業部	航空機器 事業部
-------------	-------------	--------------	-------------

新設備導入で 大物精密部品加工を内製化



大東工業株式会社
代表取締役社長 前田 和夫 氏

本社所在地 ● 京都府宇治市横島町十一番地の3
TEL ● 0774-23-6221 (代)
FAX ● 0774-20-0788
業 種 ● 精密機械、自動化装置の設計製作

●事業概要について

当社は半導体・IC関連の製造装置の製作を中心に事業を行ってききましたが、この世界はシリコンサイクルといって、浮き沈みの激しい業界です。そこで、約7年前に現在の液晶ディスプレイ(LCD)やプラズマディスプレイ(PDP)、太陽光発電装置の製造装置を製作する方向へ事業転換をしました。これは大きな決断でした。現在では、これらの機器の設計・製作から据付、セットアップ、メンテナンスサービスまで手がけています。

●社是、経営理念、基本商品づくりについて

社是は、誠意、熱意、決意です。経営方針として、「顧客の繁栄に貢献し、企業活動を通じて会社の繁栄、社員の幸福、社会への使命を考え、自立技術集団の確立を目指す」を掲げています。そして、商品づくりの基本は、「高品質Q+短納期T⇒低コストC」と考えています。高品質のものづくりを短納期で行えば、おのずと低コストになるという意味で、お客様の要求の上を行く提案型ものづくりを心がけています。

●事業経営について

当社は経営をオープンにし、社内勉強会の定例化で事業運営につ

いて議論を交わしています。事業計画から業績、利益配分まで開示することにより全社で目標を共有できるようになり、社員各自が意欲的になりました。社長が示した指針に基づき、事業部長、各部門長が実行計画を立て、遂行することが会社発展の源となっています。

●独自の技術や強みについて

半導体製造装置は、厳しい精度が要求されます。いわゆる「精度出し」の技術が問われます。ここで培った高度な技術・ノウハウをLCDやPDP(ディスプレイパネル)、太陽光発電パネルの組立装置の設計・製作に活かしています。また、当社は中小企業ですから小回りがきく、機動力を前面に打ちだし、マシントラブルがおこった場合でも24時間対応しています。

京都は精度の良い製品・商品をつくる土壌・風土があるといわれます。このものづくりに最適な環境で、さらに磨かれた良い製品を世の中に送り続けたいと考えています。

●今回の設備貸与制度での機械導入について

平成4年に設備貸与制度を利用して、ワイヤーカットの機械を導入しました。今回の利用では、門型マシニングセンター・(X5,000×Y2,500×Z1,800)五面加工機を導入しました。当社は半導体関連製造装置という小物製品が出発だったため、大物部品加工は外部で行ってききました。しかし、大物でかつミクロン単位の精度が要求されるようになり、外部ではその要求を満たす部品加工は難しく、内製化するため新設備の導入を決断しました。今回の投資は工場建設もあり、多額となったため、機械は金融機関借入ではなく設備貸与制度を利用して導入しました。お陰様でお客様からの発注も増え、更なる飛躍のときを迎えています。

【お申し込み・
お問い合わせ先】

(財)京都産業21 事業推進部 設備導入支援グループ

TEL:075-315-8591 FAX:075-323-5211
E-mail: setubi@ki21.jp

恵まれた自然の中で、独創的な創造企業をめざして。



- ◆京の料亭 千寿閣
- ◆京料理 紙屋川
- ◆チャイニーズレストラン 楼蘭
- ◆焼魚肉菜レストラン ファーム
- ◆とり料理 わかどり
- ◆カフェテラス パウハウス
- ◆日本庭園
- ◆ガーデンチャペル セントオーガスティン
- ◆ブライダルサロン
- ◆しょうざんブール
- ◆しょうざんボウル
- ◆染織工芸館
- ◆染織ギャラリー
- ◆きもの・帯 ◆アパレル ◆テキスタイル

しょうざん
光悦芸術村

〒603-8451 京都市北区衣笠鏡石町47(金閣寺北800m)
TEL.075-491-5101(代) FAX.075-495-2089
URL <http://www.shozan.co.jp/>

使って得する「ひかり電話」活用法

現在のインターネット通信はメタルラインから光ファイバーにシフトしてきており、その特徴である高速性、安定性によってデータ通信、音声通信等に幅広く用いられています。今、話題になっている光による音声通信「ひかり電話」もそのひとつであり、コンシューマユーザだけでなく、SOHOや中小企業にとっても有効なツールであると思われます。

料金面での優位性を持ち、様々なサービス・コンテンツを利用できる「光」、そのビジネスに役立つ活用法について講演会を行います。

開催日時: 平成18年10月26日(木) 14時～15時
会場: 京都全日空ホテル
講師: NTT西日本 ソリューション営業本部 細井 直樹 氏
定員: 50名
参加費: 無料
お申込: 下記の「お申込書」にご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

お申込書 (FAX 075-315-9240)

会社名	参加者氏名
所属部・役職	E-MAIL
TEL	FAX

※お申込みにつきましては特にご連絡はいたしません。定員をオーバーした場合のみ、ご連絡申し上げます。

【お問い合わせ先】

(財) 京都産業21 経営革新部 経営改革推進グループ

TEL:075-315-8848 FAX:075-315-9240
 E-mail:kaikaku@ki21.jp



地球のココロおどらせよう

ゲームソフトから
 モバイルコンテンツまで
 多彩なデジタルエンターテインメントを
 創造し、広く社会に貢献します。

株式会社 トーセ

〒600-8091 京都市下京区東洞院通四条下ル
 TEL.075-342-2525 FAX.075-342-2524

事業内容…◎ゲームソフト企画・開発 ◎モバイル・インターネット関連コンテンツ企画・開発・運営
 グループ会社…株式会社ティーネット/東星軟件(上海)有限公司/東星軟件(杭州)有限公司/Tose Software USA,Inc.

ホームページ <http://www.tose.co.jp/>

〈証券コード4728、東証・大証一部上場〉